



第444号

昭和46年11月20日

昭和24年10月10日第三回郵便物認可

やお市政だより

発行所 大阪府八尾市役所

八尾市本町 TEL代03881

印刷所 サンケイ印刷株式会社

市民憲章 わたくしたち八尾市民は 1. 若い力をそだてましょう。1. あたたかい心でまじわりましょう。1. みどりのまちをつくりましょう。1. 文化財をたいせつにしましょう。1. 働くよろこびに生きましょう。

市の動き

さあ大変!! あなたならどうする

秋の火災予防運動

11月26日～12月2日



火のこわさ知ったころには家はなし

火災シーズンがやってきました。

火事のおそろしさは、本当に火事がおこっ
てはじめて肌身に感じるものですが、それで
はもう手おくれ。

ひとりひとりが火のあと始末をおこたらない
ようにしましょう。

ことしも11月26日から1週間、全国一斉に
火災予防運動が行なわれますが、八尾市では
防火展示会、防火作文の募集を中心に、防火
推進モデル地区(植松町、北本町、太田)
394戸の防火診断、建築物、集中パトロール
危険物運搬車両の街頭取締りなどを行ないま
す。

●八尾駅前などで「目で見える防 火展示会」を開きます

火事の原因は何が多いか、火事にあうと、
どんなにおそろしいものかを、実際に火事で
焼けた品物や写真で見ていただくため、展示
会を開きます。粗品があたるクイズも用意し
ていますので一度おこしください。

時間は午前9時30分から午後4時までです

☆市役所市民ホール前＝11月26日

☆国鉄志紀駅前＝11月27日

☆国鉄八尾駅前＝11月29日

☆近鉄八尾駅前＝11月30日

☆近鉄山本駅前＝12月1日

☆近鉄高安駅前＝12月2日

●あなたも防火作文をおよせく ださい

私は火事についてこう思う、防火はこんな
ふうにしたらよいというご意見・ご提案があ
りましたら作文にまとめておよせください。

市民または市内に在学、通勤されている方
ならどなたでも結構です。

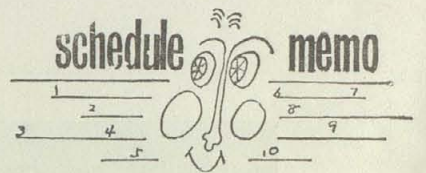
優秀作には5千円から2万ま円での賞金が
贈られます。

☆応募のきまり＝ 400字づめ原稿用紙5枚
程度で、黒インキかB以上の鉛筆でお書きく
ださい。

☆あて先＝八尾市栄町2丁目3番10号(〒
581) 八尾市消防本部予防課



市の行事



《農業展示品評会を開催》

農業特産物の品質を良くし、共同出荷の体制を固めるとともに農家の生活を改善していくため、農業展示品評会を開きます。

また、12月8日に即売会を行います。

☆出品物の受付 12月7日 午前8時～10
時 ☆審査 12月7日 午後1時～3時

☆一般公開 12月8日 午前9時～午後3時
☆即売品の引渡し 12月8日 午後3時～4時
☆ところ 市民ホール



《給食物資納入業者の登録》

教育委員会では、来年度の学校給食物資納入業者の登録申請を次の要項で受け付けます
☆申請書交付期間 11月29日～12月13日

☆申請書受付期間 12月8日～12月18日

なお、登録業種、受付、その他くわしいことは、市立学校給食センター（電41-1561）へお問い合わせください。



《郵便配達アルバイト募集》

八尾郵便局では、年末年末(12月1日～1月10日)の事務をお手伝いをしていただく学生アルバイトを募集しています。

☆募集人員 350名(男女)

☆給与 内勤 1時間 130円以上 外勤
1日1,300円以上

☆作業内容 内勤 年賀郵便物の区分 外勤 年賀郵便物の配達



《青少年非行防止呼びかけ》

八尾市青少年問題協議会、市教委では、歳末をひかえた12月4日(土)午前7時30分から市内各ターミナルで青少年の非行防止や健全な家庭づくりを啓蒙用マッチや七曜カードを配り全市民に呼びかけます。

年末年始には、青少年の非行もふえてきますので、みなさんのご協力をお願いします。

身障 = 身体障害者相談 **心配** = 心配ごと

と相談 **結婚** = 結婚相談 いずれも13時～
16時 福祉会館で **家児** = 家庭児童相談
10時～16時 福祉会館で

青少 = 青少年愛護相談 9時～17時 教
育センターで **交通** = 交通相談 **法律**

＝法律相談 **行政** ＝行政相談 いずれも
13時～16時 市民相談室で

後1時～5時 教育センターで

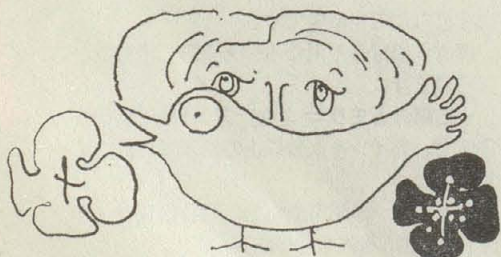
☆分科会のテーマ 6分科会にわけ、教育をうける
権利の保障、婦人の権利の確立、こどもたちの権利の
保障、市民的権利と生活保障、働くものの権利の保障
地方自治 などについて各分科会に別れて話し合いま
す。

☆映画 東宝映画「上意討」

12月4日～10日は「人権週間」です。これにちなみ
映画と講演の集いと映画と語り合う集いを次の日程で
開催します。

「映画」と講演の集い 12月7日 用和小 8
日 南高安中 9日 竜華中 10日 教育センター
映画はいつでも東宝映画「名もなく貧しく美しく」
時間は午後1時～4時30分

＜「映画」と語り合う集い＞ 12月12日（日）午



やお市政だより

第444号

3

昭和46年11月20日

お知らせ

●歳末助け合い運動のこと

電91-3881 内線390

■あなたの愛の手で明るいお正月を迎えてもらいましょう

ことしも残り少なくなりました。みなさんのまわりでもどうしてお正月を迎えようかと悩んでいる人がおられるかもしれません。

このような人のために、ことしも12月1日から年末まで、「歳末たすけあい運動」を実施し各戸に義捐会袋を回したり、社会福祉協議会（光南町1丁目）に募金窓口を設けます



ので、みなさんの暖かい思いやりと少しの儉約で、この運動にご協力くださいますようお願いいたします。

●学校のこと

電92-4550

■夜間学級の入学申請を12月1日から受け付けます

義務教育を修了できないまま家庭や職場に入っている人たちに学力向上の場をもつていただくため、夜間学級を来春から市立八尾中学校内（緑ヶ丘1の16）に開設することになりました。

☆授業日数 毎週月曜日～土曜日午後5時30分から9時まで、40分授業で4時間、週24時間

☆授業科目 昼間の中学校と同じ

また、入学許可申請を次のとおり受け付けます。

☆申請用紙の交付 教育委員会学務課、教

育センター内指導課、各出張所、市立各中学校で12月1日から交付しますが、取りに来られない方は、郵送（学務課、指導課で取扱います）でもお送りします



☆申請の受付 12月1日から20日まで市役所玄関受付箱で（午前9時～午後7時）郵送の場合は、本町1の1、八尾市役所内教育委員会学務課までお送りください

●清掃のこと

電91-3881 内線381

■12月1日からゴミの自家搬入は申請書が必要です

清掃事業所では、じんかい処分地の有効利用と整理のため、12月1日から事業者または市民のみなさんが清掃庁舎にゴミを持ってこられる（自家搬入）場合、必ず申請書に必要事項を記入して、それを持ってきていただくという方法をとりますので、ご協力をお願いします。



申請用紙は市役所衛生課、清掃庁舎、各出張所にありますのでご利用ください。

なお、くわしいことは、清掃事業所にお問い合わせください。

●融資のこと

電91-3881 内線237

■中小企業設備近代化資金を貸し付けます

府では、中小企業の経営合理化のため、設備近代化資金を貸し付けますので、希望される方は、次のとおり申し込んでください。

☆貸付条件 無利子、設備購入費の2分の1以内で、貸付限度額は、原則として10万円以上500万円まで

☆申請期間 12月8日～10日

☆申込方法 申請書（市産業課にあります）

貸付対象設備の見積書および契約書など必要書類を添えて申し込んでください。



☆申込場所 府職員会館第2講堂（市庁本館裏）

その他くわしくは、市産業課か府商工部工業課、通商観光課にお問い合わせください。

●恩給のこと

電91-0090

■旧軍人、軍属などに対する一時恩給の請求を受け付けています

府では、旧軍人、軍属などに対する一時恩給金の請求を受け付けていますので該当者は早めに請求してください。

☆資格 軍隊などに勤務していた実在職年が、3年以上7年未満の下士官以上の人で、下士官以上として勤務した期間が1年以上の人。

ただし、普通恩給、普通扶助料、増加恩給

を請求または受給されている人などは請求できません。



☆申請 府民生部福祉課恩給係（大阪市東区大手前之町）で受け付けていますが、用紙は市社会課（福祉会館内）にもあります。

●福祉金のこと

電91-0090

■市身障福祉金の追加申請を受け付けています

市社会課では、昭和46年市身障福祉金の追加申請を受け付けていますので、該当される方は、12月10日までに申請してください。

資格 昭和46年1月1日から市内に住んでいて、住民基本台帳に記載されている人のうち次のどれかにあてはまる人

①福祉事務所に登録されている人で、知能指数が50以下の人

②昭和46年4月1日以前に身障手帳の交付を受けている人で、障害度1級から4級の人

（ただし、20歳未満の人は1級から6級）

なお、こん回の申請受付は、ことし4月に申請をされ、9月に福祉金の支給を受けられた人は含まれません。

☆申請 市社会課（福祉会館内）で受け付けていますので、身障手帳、住民票、印かんを持って、12月10日までに申請してください。



●文化祭のこと

電91-3881 内線393

■美術展で塩田さんらが入賞しました

第18回文化祭の美術展（書道、絵画俳画、ペン習字、写真、手芸、染色）の入賞者が決まりました。

【知】＝知事賞、【市】＝市長賞【議】＝議長賞、【教】＝教育委員会賞、【優】＝優秀賞、【努】＝努力賞【佳】＝佳作賞【奨】＝奨励賞【ラ】＝ライオンズクラブ賞、【ロ】＝ロータリークラブ賞、【商】＝商工会議所賞、【銀】＝銀行賞、【入】＝入選です。（敬称略）

☆書道の部＝【知】塩田碧汀（安中町）【市】浜渦雪香（山本町）山階厚子（山本町南）【議】世古青琴（若草町）谷迫須美子（東久宝寺）【教】井原芳郎（若草町）福田秀子（高美町）【優】谷本安石（安中町）矢原瑞香、佐伯曉嵐（若草町）広瀬京子（山本町北）森本ひろみ（山本町南）【努】宮原青松（若草町）鳥養照蘭（東久宝寺）松川恭子（堤町）坂口春千代（山本町北）小川慧水（萱振町）【佳】木本雅恵（本町）伏田和陽（恩智）角田智恵子、富田庸子（山本町北）【奨】重岡曙光（東山本町）西川孝子（東久宝寺）岩津文子（山本町）大沢智枝（山本町北）【ラ】井野都茂子（八尾高）【ロ】出口則子（清友高）【商】上田恵津子（八尾木）【銀】西川孝子（東久宝寺）

☆絵画の部＝【知】宮川元一（佐堂町）【市】林益治（柏村）奥山緑（堤町）【議】藤善裕子（幸町）【教】明石裸人（北本町）【優】榎岡真啓（泉町）佐藤曉子（垣内）村上賢一（東本町）【努】船木美津（山本町）吉本満雄、阿部稔（弓削）【佳】吉田茂子（山本町）山田貞彦、山口純一（久宝寺）【奨】金井立（久宝寺）山本千枝子（山城町）橋本節雄（福万寺町）【ラ】木原久美子（上之島南）【ロ】井上可子（京都府）【商】伊藤陵子（服部川）【銀】真辺敏弘（大阪市）

☆俳画の部＝【市】島田博臣（北久宝寺）【議】三砂静子（木本）【教】辻三郎（南本町）竹原歌代恵（高砂住宅）【優】塩川彦五郎（竹淵）岩城美智子（栄町）東口四郎（北本町）【努】阪井珠子（黒谷）高杉千鶴子（中田）渡辺章（長池町）【佳】谷村文子（山城町）佐々木いと（久宝園）森宗茄（佐堂）【奨】沢村昌子（黒谷）磯上洋子（緑ヶ丘）岩崎春子（東久宝寺）【ラ】西田美知子（宮町）【ロ】村西徳子（末広町）【商】西脇志ずゑ（緑ヶ丘）【銀】井上千恵

（宮町）

☆ペン習字の部＝【市】板野治恵（山本町南）【議】筒井合子（東大阪市）【教】山本真理（南本町）【優】中原利子（弓削）中村まつ子（相生町）【努】菱垣嘉子（相生町）山田美津代（植松町）【佳】桃田依子（栄町）福井文子（本町）【奨】中村弥生（相生町）浜田美智子（陽光園）【ラ】内田小百合（安中町）【ロ】中務克子（植松）【商】西岡幸子（田井町）【銀】中西桂子（東大阪市）

☆写真の部＝【知】西野政勝（本町）【市】犬伏弘（萱振町）【議】今井孝男（竹淵）【教】中西勝美（福万寺町）才脇信吾（東本町）【優】岡村武房（北久宝寺）池崎宗男（東久宝寺）岩本芳春（二俣）平田俊彦（北本町）山口順三（宮町）【努】佐藤勝郎（東大阪）酒井鶴男（北久宝寺）【佳】石川勝義（長池町）川口勝司（本町）【奨】林いゝき（太子堂）末吉康久（刑部）【ラ】平野甚太郎（北木本）【ロ】水野寛（北木本）【商】青木孝夫（佐堂町）【銀】山口信義（恩智）

☆手芸の部＝【知】清水支枝（二俣）【市】佐々木いと（久宝園）山本すず子（堤町）【議】萩原八重子（恩智）天道和子（末広町）【教】岩井喜代子（西山本町）阪井ふくえ（水越）【優】寺島紀子（安中町）島田富子（大窪）小川滋子（安中町）尾川広子（南本町）【努】矢野キヨ子（植松町）岩阪郁子（上之島南）【佳】田所規子（北本町）葉野千代子（南本町）【奨】中川利子（緑ヶ丘）谷内桂子（植松町）【ラ】富田静子（植松）【ロ】福田美代子（安中町）【商】森岡俊子（末広町）【銀】西山美美子（若草町）

☆染色の部＝【市】中山一枝（黒谷）【議】二森信子（末広町）川田田鶴子（西山本町）【教】阪口公代（本町）【優】山本隆子（大阪市）宮崎伊都子（本町）吉川美恵子（宝塚市）大西やすの（萱振町）信貴典子（東久宝寺）【努】畑中ユウ（恩智）野崎美智子（北本町）【佳】高見歌子（山本新町）長谷川篤子（東久宝寺）【奨】端山咲子（堤町）早瀬美代子（大阪市）【ラ】小林千恵子（桜ヶ丘）【ロ】浜村昌子（黒谷）【商】久松節子（南小阪合町）【銀】都路可須巳（跡部本町）



市民のページ

郷土の歴史をたずねて

その14

八尾の古墳

井 浩 三 (郷土史家)

●二室塚 (にしつづか)

服部川神光寺墓地の東方、一段上の扇状地に当たる植木畑の中にあり、通称二室塚の名で呼ばれている。

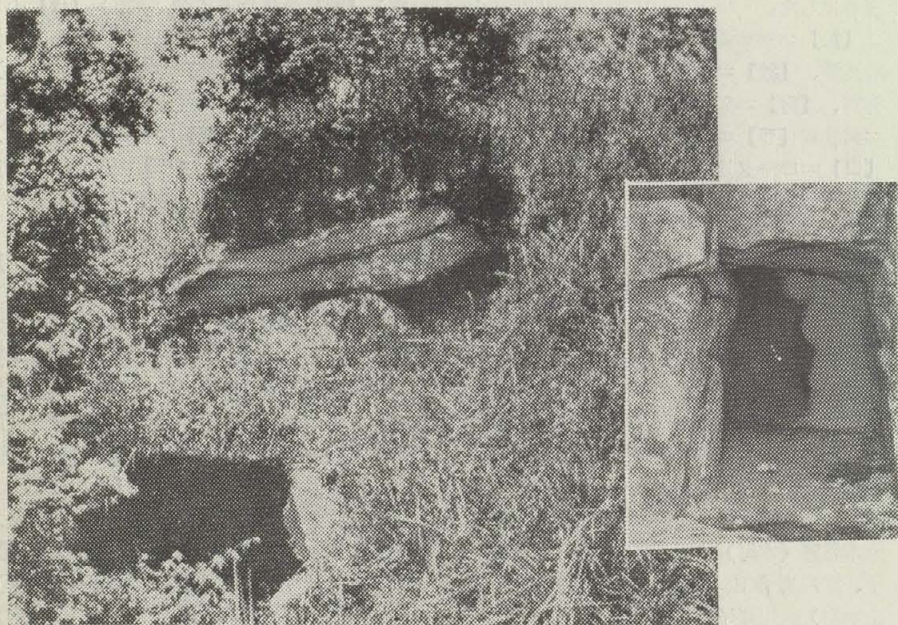
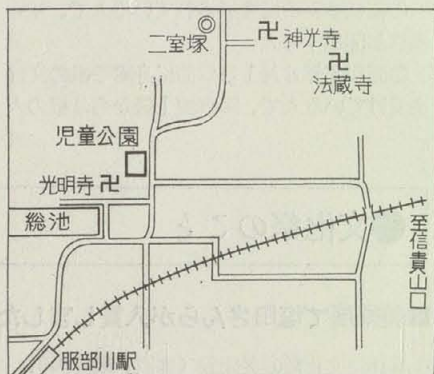
羨道入り口の上に巨石が露出している。横穴式片袖式の円墳で、後期の古墳に属し、墳丘の封土は、上部、周囲ともにかなり削りとられていて、上は雑草が繁り、天井石が露出している。高さ5m、径15mあり、西南に面して開口し、羨道はわずかに1m余り残っているのみであるが、玄室が一行に、前室と奥室の二室設けられている珍しい形のものである。

前室は幅 2.5m、奥行き5mの長方形をなし、天井の高さ 3.5mで、天井は巨石3枚で覆い、その奥左隅の所に角柱状の巨石を立てて棚状の台がつくられている。

それより 1.7mの廊下状の部分にくぐると

奥室がある。室の広さは、前室のそれよりやや小さく、幅は同じであるが、奥行は4mで天井石は2枚で覆っている。

室内床土には小石が散乱しており、その間に石棺の破片が多く見られる。



写真(上)古墳全景(右)奥の玄室、左隅棚状をなす

■病気にに関するもの

☆天然痘の流行する時には、赤飯の握飯を作り、白木の膳にこれを載せて辻へ供える。

☆病人を北枕に寝かすとその病氣長びく。

☆乳飲子に鏡を見すれば天然痘にかかれや重い。

☆月の28日よりねつくと病氣長びく。

☆49日(77口忌明)のカサの餅を食へば喘息(ぜんそく)に罹(かか)らぬ。

☆鶏(にわとり)の初産(ういざん)の卵を食へば中風(ちゅうふう)にかからない。

☆木村長門守の墓地の松葉を寝小便する者の床下に敷かせば癒(い)ゆ。

(中河内郡誌より)

つづく

郷土の歴史

八尾市のはじまり

その2



●三角州でできた河内平野

平地部は、太古には入海または湖水であったといわれ、河内の平地部の全部をおおう広大なものであった。去る昭和24年11月18日、八尾市役所庁舎建設敷地を、地下20mまでボーリングした際、12.4mから13.4mまでの1mのあいだに、貝殻まじりの荒砂の層があった。これによって、現在の八尾市中央部は、かつては深い水たまりの底であったことがわかる。

この広い河内の内海に、北より淀川が、南より大和川が流入して、日々多量の土砂を運搬した。やがて河口に三角洲が成長し、その成長につれて隣接する三角洲を結合し、さらに大きく広くなる。これを長年繰り返すことによって、河内の低地部が出現したのであるが、河内北部には250年程前にはまだ、深野池、新開池などの大きな水たまりが残っていた。

国府や日下(くさか)に縄文式文化が起こった時代には、平地はまだ水をたたえていた。特に日下には貝塚が残っていて、この水たまりで採集して食料に供したあと捨てた貝殻が多く発見された。それによると、貝殻の99%までは淡水産のセタジミであって、塩水産のものはごくまれであった。これによって当時はすでに淡水の湖となり、なおわずかに海に連なっていたことがわかる。

その後、南部方面の堆積が進んで、弥生式文化の始まるころにはかなり陸化していたようである。弥生式文化の本質は、農耕、特に水田米作にあったので、恩智や山畑(やまたけ)や水越(みずこし)に人が移り住んだのは、水田米作に適した土地があったからである。そしてこの時代末期、2世期後半のころには、小阪合、別宮(べっく)、久宝寺などにその遺跡をとどめているところから、陸化はかなり進んだようである。

つづく。



●恩智墓地の無縁仏2千体が洗い清められました

神宮寺にある恩智墓地には無縁仏の墓石が約2千体まつられています。参る人も少なく、長いあいだ荒れほうだいになっていました。

これではあまりにもったないと、地元の有志約60名がこじの春から墓石の土台をつくりかえ、こけむした墓石を洗い清めようと計画し、去る10月末から作業が始まりました。

大小さまざまな墓石は、長いあいだ風雨にさらされて「きざみ」もはっきりとあらわれ

ていないものも多くありましたが、有志たちが朝早くから夕方までせっせと清めたおかげで、ほこりやこけもとれ、すっかりきれいになりました。

これまで墓石はピラミッド型に積みあげられていましたが、土台がコンクリートで階段状につくりなおされ、きれいにならべられました。

また、洗い清めが終った10月24日、午後から開眼供養がおこなわれました。

中河内郡の迷信

その2

市民のページ

●おたくの戸締まりはだいじょうぶですか

＝あきす、しのびこみがふえています＝

これから年末にかけて、あきすなどの犯罪がふえてきますが、八尾警察署の調べでは、すでにことし1月から10月までに、1,907件の盗犯事件がおこっています。外出するときはカギをしっかりとかけ、隣り近所にひと声かけて出かけるようにしましょう。

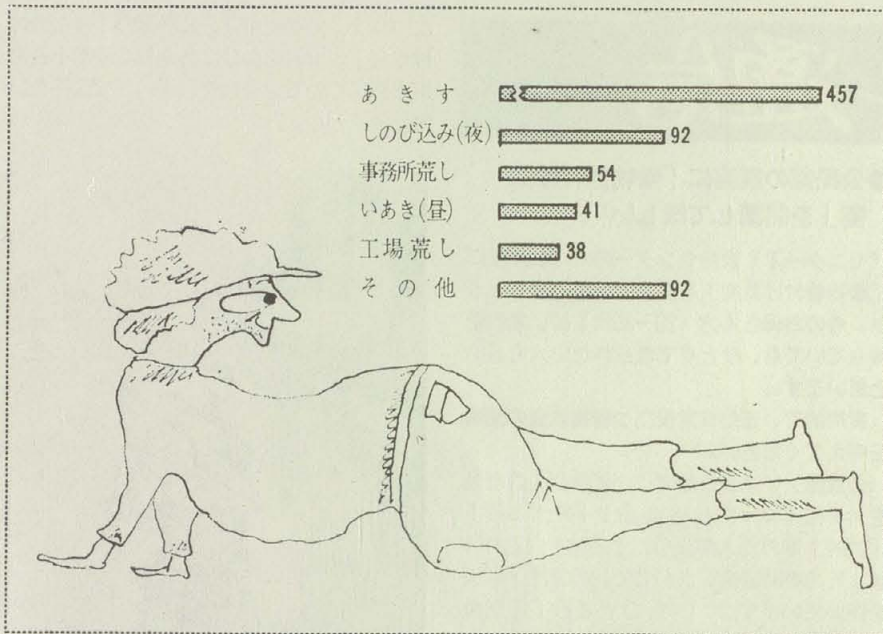
■あきすねらいが50件もふえています

八尾警察署の調べによると、ことし1月から10月までに市内で建物へ入って盗みを働く事件は、昨年より70件も多い774件がおこっています。

これを分類しますと、トップは「あきすねらい」で457件、2位が「しのびこみ(夜)」で92件、3位が事務所荒しで54件、4位が「いあき(昼間)」で41件、5位が工場荒しの8件となっています。

「あきすねらい」は昨年の402件より55件多く「しのびこみ」は昨年の69件より23件ふえ、あきす、しのびこみが増加しているのが目立ちます。

地域的に見ると、新興住宅が多い山本地区で昨年より43件も多い77件を筆頭に、南山本久宝寺地区、亀井地区、八尾木地区でふえ



ています。

■侵入口は表玄関が圧倒的です

犯人が使う手口はガラスを破り、カギを内側からあけるものが多いのですが、カギをか

けずに外出する例も多く、犯人の手だすけをしているようなものです。

侵入口は、玄関が圧倒的です。

外出されるときは玄関のカギにご用心、ご用心。

時間帯は午後2時から4時までがトップで続いて正午から2時になっています。昼食後主婦が外出する時間が特にねられやすいようです。

■自転車の盗難が激増しています

その他の盗難事件では、自転車の盗難が495件、車に積んである荷物の盗難が141件自動車105件、オートバイ67件、ひったくり33件となっています。

【特に自転車の盗難は昨年339件より156件も多く、ひったくりは昨年の13件より2倍以上に増えています。

■外出するときはもう一度カギを見なおし、隣近所に声をかけましょう

これから年末になると外出することも多くなりますが、出かけるときはカギをかけたうえにももう一度確かめ、隣り近所にひと声かけるようにしましょう。

また大金の持ち歩きも多くなりますが、必ず2人以上で自動車を利用するようにしましょう。

万一被害にあった時は一刻も早く、110番へ連絡しましょう。

この人

文化の日、市長から表彰を受けた細川信子さん



●両親にかわって6人の弟妹を育ててきた娘さん

工場に勤めながら両親にかわって、6人の弟妹の面倒をみてきた21歳の娘さんが、文化の日の11月3日、市長から表彰を受けられました。

南本町3丁目、八尾隣保館母子寮内、細川信子さんがこの人。

41年3月に大東市立四条中学校を卒業して大阪市の会社に勤められましたが、まもなく父親の家出。

病弱だった母親の愛子さんをかばいながら、6人の弟妹をつれて同年8月に南本町の母子寮に移ってこられました。

母親は疲れが出たのか42年の秋になくなられ、中学2年の弟から4歳の妹まで、弟妹6人を育てていかなければならない重荷が信子さんの肩にかかってきました。

このとき信子さんは17歳。

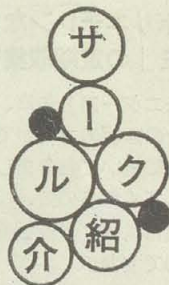
「泣く余裕なんてなかった」。毎朝5時半

に起き、朝食をつくって、弟妹を学校に行かせる。それから大東市の工場へ。夕方6時すぎ帰宅。夕食のあと洗たく、つくろい、そうじ、弟妹の宿題もみななければいけない……」こんな生活が続きました。

母親がなくなって4年。長い間の苦勞のかいがあったかまでは19歳になった弟と17歳の妹が就職し、あと4人の面倒をみるだけになりました。

「いまでも生活は苦しいけど、ボーナスもある。なんとかやれる」と、昨年11月、これまで受けてきた生活保護も返上されました。

「娘だからおしゃれは大好き。旅行だってよく行くし」と苦勞してきたと思えないほどの明るい性格。「わたしがふさぐと、みんながふさぐから」笑みを絶やさないのは、もうくせになったと言う。(写真＝市長から表彰を受ける細川さん)



知恵おくれの子を持つ母親の会、八尾こぼと会、

●年末にはクリスマス会を計画しています

「知恵おくれの子を持った母親のほとんどはこどもの将来や教育で、あれこれと暗中也さくしておられると思います。そんな母親たちが集まって、悩みごとを相談しあいましょうということから、この会ができたのです」八尾こぼと会の中川会長は、こぼと会ができたときのことをこう話しておられます。

八尾こぼと会ができたのは昨年6月のことです。

それまでは、東大阪市・八尾市・柏原市の3市で「こぼと会」という親の会をつくっていましたが、地域に密着した活動ができないなどの理由で、八尾市内のお母さんたちだけで独立し「八尾こぼと会」ができたのです。

発足したときは45名の会員がいたのにもかかわらず、これといった具体的な活動計画もないままでしたが、9月に第2回総会を開いてからは会の運営も軌道にのって、昨年末に

はクリスマス、ことしは安堂へぶどう狩、授産所施設見学、通園施設見学、バザーなどを開き、こどもと母親が楽しく勉強できる行事を行ってきました。会員は0歳から19歳までのこどもを持つお母さんたちで、今では60名になっています。

こんど新しく会員になったA子さんは「いままでは、自分の子が特殊なこどもだという意識が強く、はずかしくて隣近所にもできるだけかくそうとしていましたが、同じ境遇のお母さん方をみていると自分だけがこんなじゃないんだ、これであたりまえなんだという気がしてきます」とのこと。

会長の中川淑子さん(八尾木 374-24 ⑨ 92-2930)も「ひとりで迷っておられるお母さんがおられたら、ぜひ入会してもらいたいと思います」と話しておられました。(写真＝みんなで相談してバザーも開きました)

市民のページ



モニター通信



●ポリエチレンなど「燃えないゴミ」の定期収集をしてほしい

(モニターM) 先日、小屋の修理でポリエチレンの浪板のゴミができ、ゴミ収集の指定の場所に置いておきましたが、普通のゴミは収集してくれるのに、浪板は置いたままです。八尾市はポリの浪板をゴミと認めておられないのですか。

河内長野市は普通のゴミの収集日以外に、燃えないゴミを月2回定期収集しているそうです。八尾市でもこの方法を実施したらと思います。

(清掃事業所) 各ご家庭のゴミは、現在月2回の定期収集をしています。ご指摘のポリの浪板等の「燃えないゴミ」や、机、タミ等の「大型ゴミ」は、原則として、一般収集の中に含んでいません。

このようなゴミは、夏の大そうじのときに、出していただくか、市に有料臨時収集の申込みをしていただいている現状です。(1トにつき出張収集のときは2千円、持ち込みのときは700円)

このため市では現在、燃えないゴミや大型ゴミの特別収集の計画をしており、早急に対策をたてたいと思います。

なお、ゴミの持ち込みは、燃えるゴミはゴミ焼却場(上尾町8丁目)へ、燃えないゴミは、大字安中22番地の埋立地へお越しください。

なお、このほど清掃法が改正され、第8面お知らせ欄にもありますように、ゴミを持ちこまれるときは申請書が必要になりましたので、ご協力をお願いします。(写真=大そうじには燃えないゴミや大型ゴミが大量に出されます)

●公民館の講座に「着物着付け教室」を開講してほしい

(モニターT) 教育センターの市民講座に「着物着付け教室」を開講できないでしょうか。今のお母さん方(20~30代)は、着物を持っても、ひとりでは着られない人も多いと思います。

実用的で、また日常役立つ着物教室の開講を考えてください。

(公民館) いま公民館では、15歳以上の市民を対象に「ママさん英会話」「染色工芸」「詩吟」等の成人学級や、「文学・生活の科学」等の専門講座、あわせて18の講座・学級を開いていますが、いまのところ「着物教室」はありません。

開講する講座は、予算や場所の制限もありますので、市民のみなさんの要望が特に多いもの、市でなければ開けないもの、市が重要な講座と選んだものに限られます。

実用的なものであっても一部の市民で自主的にできるものは、みなさんが独自に開いていただくよう願っています。

着物教室は希望者も限られていると思いますので、しばらくの間、有志の方々と開いていただきたいと思います。(写真=私は入れるかな? 成人講座は毎年申込み者が殺到します)



ゴミの週2回どりが始まって4年。

チャイムメロディーにのってゴミ収集にくるパッカー車は、すっかり家庭の主婦と仲よしになりました。

今回は、モニター通信のなかから、「燃えないゴミ」の定期収集、公民館の「着物着付け教室」、大雨のたびにあふれる竜華小西の用水路について、それぞれ担当課で回答をいただきました。



●大雨のたびにあふれる竜華小西の用水路を整備してほしい

(モニターI) 竜華小学校の西側の用水路は台風23号の大雨で水があふれ、道路に目をそむけなくなるような汚物が散乱しました。

この道路は学童の通学路になっていますし川へは、幼児が落ちこむ事故が時々おこっています。

(下水道課・道路課) ご指摘の水路は、ことし7月末にしゅんせつしましたが、下流の排水条件が悪いので、根本的に下流の河川改修をすることになっています。

第1次計画として、さっそく早川電機から府道までを施工します。

これが完成するまでは、年1~2回のしゅんせつでごしんぼうください。

また、学童・幼児の危険防止のため、500mにわたって用水路にコンクリートの「土どめ」を作ることになっています。

工費の関係もあり、工事は第1期~3期ぐらいにわけて行ない、来年2月ごろから着工し3月末までには完成の予定です。(写真=大雨のたびにあふれる竜華小西の用水路)

●八尾英語研究会の入会方法を教えてください

(問) 以前から市政要覧などで「八尾英語研究会」のことが紹介されていますが、会のようすや入会方法を教えてください

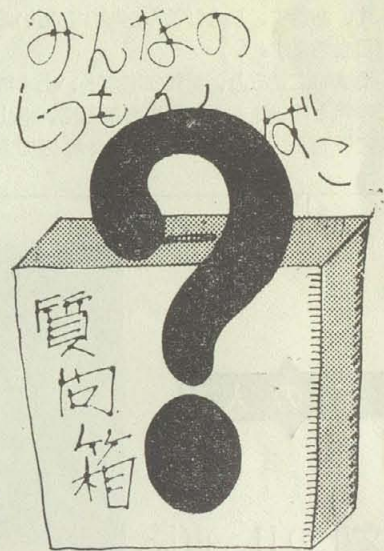
(答) 八尾英語研究会は、昭和33年にできた歴史の古いサークルです。

メンバーは公民館の英会話講座の経歴のある人が多いのですが、行事の企画や実施もすべて会員全体で相談して運営されています。

メンバーは現在約40名で、学生もいれば主婦もいる、勤務者もいるといったぐあいにバラエティーに豊んでいます。

八尾英語研究会といえば、44年に八尾市とアメリカ・ベルビュー市が姉妹都市提携をし、大橋市長らが渡米するときに、研究会の活動記録のアルバムを市長に託したサークルとして有名ですが、39年にも、府教育委員会から優良小集団として表彰を受けています。

練習は週1回で、表現の基礎や発音、ディベート、ディスカッション、ヒヤリングなどできるだけ広い範囲の練習を心掛けています。



委節行事では、新年親睦会、ハイキング、合宿研修、国際交歓会、クリスマスなどを行っており、みんなで力をあわせて交際の発行もしています。

ことし11月10日、11日、12日にベルビュー市の親善使節団が来市したときに、使節団のメンバーと研究会の会員のあいだで、英会話のテープなどの交換を約束しているようですので、今後国際交流活動も活発になると思われます。

研究会は毎週金曜日、午後7時30分から9時まで、教育センター(清水町1丁目)で定期集会を開いていますから、入会を希望される方は、しばらく見学にこられて、これならみんなとうまくやっていけると思われたらご入会ください。

●質問箱の原稿を募集しています

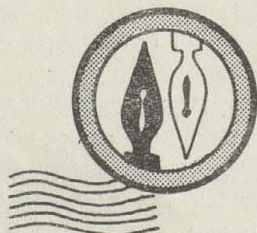
公聴課では「みんなの質問箱」の原稿を募集しています。

日頃、市政について疑問に思っておられることがありましたらどしどしお寄せください。なお、ご質問は郵送をお願いします。

☆あて先 本町1丁目1番1号(〒581) 八尾市役所公聴課広報係

モニター通信について

「モニター通信」は、46年度市政モニターのみなさんから寄せられたご意見・ご提案(モニター通信)を各担当課で回答し、市政だよりを媒体にして市民のみなさんとともに考える場です。



児童のページ

わたくしたちの学校——《北山本小学校の巻》

ぼくたちの学校は、ぼくたち6年生が1年に入学した時は1学級でしたが、2学級、3学級と生徒数がふえ、今では1,000人を越えました。

運動場がとても広く、校舎も今年から4階建てになりました。いくら生徒の数がふえても、みんなのびのびと運動し、勉強することができます。そうして今、新しい体育館兼講

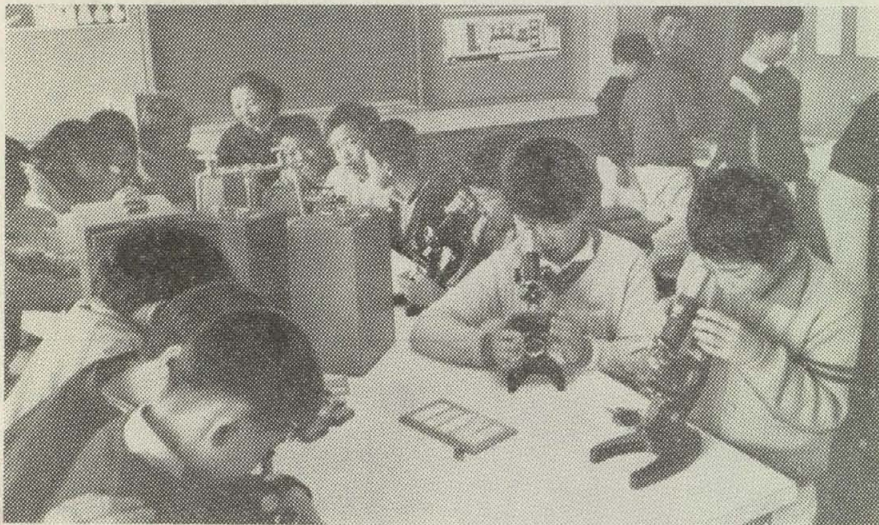
堂が建設中で、卒業式はここですることができるそうです。

ぼくたちは今、差別の問題についてしんげんに考えています。問題が起こるたびに学級会や合同学級会を開いてみんなで話しあいます。その中でも一番大切なことは同和問題です。1学期に児童代表が桂小学校を訪問し、交流会を開きました。それぞれの学校の紹介児童会の活動、またいろいろ知りたいことなどを質問しあいました。これからも度々話し合って仲よくしていきたいと思います。

クラブは5・6年生だけで13のクラブに分かれています。運動会には、全部のクラブがそれぞれ持ち物を工夫してあらし、紹介しながら大行進をしました。とても楽しいでした。

これからも、学校児童会の中で、学級の中で、クラブの中で、また近くの学校ともどんどん話し合いを続け、差別のない明るい学校にしていきたいと思っています。

児童代表



●市役所のしごとその8

■建設部（けんせつぶ）

雨がふるとどろんこになる道があれば、コンクリートで舗装（ほそう）しなければいけません。家で使った水を川へ流（なが）すと川が汚（よご）れますので、下水道（げすいどう）をつくらなくてはなりません。

建設部には道路（どうろ）のしごとをしている道路課（どうろか）と下水道（げすい）のしごとをしている下水道課（げすいか）があります。

●道路課（どうろか）

八尾市には430kmの市道（市が持っている道路）が走っています。

このうち半分がコンクリート舗装（ほそう）されていますが、まだまだじゅうぶんとはいえません。

道路課ではどんどん舗装道路をふやすために、いっしょうけんめいにしごとをしています。みなさんの学校の近くにあるガードレールや町かど立っているカーブ・ミラーをつくるのも道路課のしごとです。

●下水道課（げすいか）

下水道というのは地面（じめん）の下にコンクリート管をうめて、家で使った水や雨水を流す設備（せつび）です。

八尾市では、市内に下水網（げすいもう）をつくるため、いま、市内を八尾・久宝寺・久宝園・竹淵（たごち）・新家（しんげ）という5つの排水区に下水工事をすすめています。

●河川課（かせんか）

河川課は以前に下水課に入っていたのですが、ちかごろは川は水路（すいろ）がたいへんよごれてきましたので、新しく「課」としてできました。

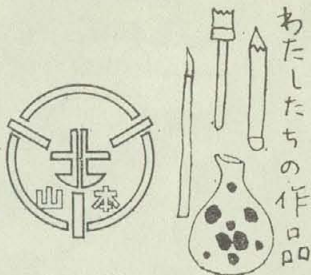
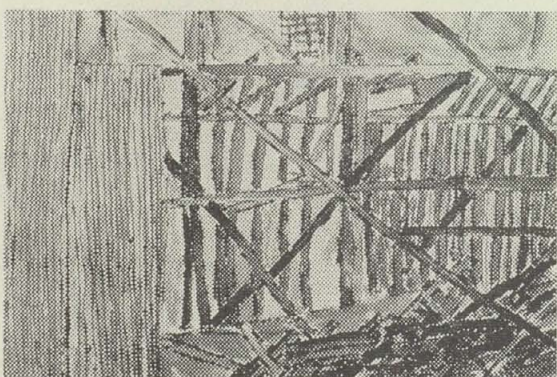
川や用水路（ようはいすいろ）をきれいにするしごとをしています。

●管理課（かんりか）

市が建築業者（けんちくぎょうしや）にたのんでいた建物（たてもの）ができたときに、うまくできたかどうかなど調べています。



- ↑ 習字 6年男子
- ↗ 図画 「動物園」 1年女子
- 図画 「建築現場」 5年男子
- 習字 5年男子



「弟」

2年 女子

わたしの弟は
よく人に ごまかされる。
わたしは はらが立つ。
その子に
わたしが 言っても聞かない。

まだ小さいからと
ばかにしているのなら
それなら じぶんだって
大きい子に ばかにされたら
どんな気持ちがするか
知りたい。

「青 空」

5年 女子

広い大きい青空
美しく すばらしい青空
むかしは
そう むかしは美しい青空だった。
でも今はちがう
空には 光化学スモッグ
工場からのばいえんで星も見えない
あの美しい青空は
あの美しい自然は
だれがうばってしまったの
だれがなくなしてしまったの
この世には
もう
自然という文字は
なくなってしまったのだろうか。

●東山本小で交通安全教室がひらかれました

こん月9日、東山本小学校で、父兄（ふけい）をまじえた交通安全教室（こうつうあんぜんぎょうしつ）がひらかれました。

これは、東山本小学校ができてはじめてひらかれたもので、校庭（こうてい）にふみきり、歩道（ほどう）などをかき、信号機（しんごうき）4台と標識（ひょうしき）3台を使って訓練（くんれん）がはじめられました。

八尾警察署（やおいけいさつしよ）の交通警官（こうつうけいかん）、交通巡視員（こうつうじゆんしゐん）のおねえさんの指導（しどう）をうけながら、正しい自転車（じてんしゃ）ののりかたや横断（よこたん）のしかたなどを、やく2時間勉強（べんきよう）しました。

このあと、父兄（ふけい）と警察（けいさつ）と先生（せんせい）とで、家庭（かてい）での交通安全指導（こうつうあんぜんしどう）について話しあいました。



市の話題

《労働会館で7,000組が挙式しました》

結婚シーズンたけなわ。市立労働会館（山本）でも、こん月14日で7000組目が挙式しました。

このカップルは、中田啓三さん（22歳、千塚）西森文穂（24歳、安中町）

この日、午前11時から、親せき一同が見守る中で式を挙げ、その後で大橋市長から中西新夫妻に記念品が送られました。

同会館の結婚式場は35年にスタート3000組目（41年）にも記念品が送られています。



《姉妹都市ベルビュー市から親善使節団が訪れました》

八尾市と姉妹都市提携を結んでいるアメリカ、ワシントン州ベルビュー市の親善使節団のゲイツ市長ら一行11名が10日～12日、八尾市を訪ねなごやかに交歓しました。

滞在中、一行は、常光寺で開かれていた菊花展や市立安中中小などを訪ずれ、市民、児童たちと親善を深めていました。

また、4月に八尾ロータリークラブが市に寄贈した労働会館（山本町）の庭園が、この使節団の訪問を記念し「ベルビューガーデン」と名付けられました。



《目の不自由な人たちを集めて点字の講習会が行なわれました》

こん月15日、市内の目の不自由な人たちを集めて、点字の講習会が行なわれました。

これは、大阪府盲人協会が目の不自由な人でも点字が読めない人も多いので、この際、基礎から練習していただこうと開いたものです。

会場の福祉会館には、12人の目の不自由な人たちが集まり、府盲人協会の樋口四郎会長が講師をつとめました。

参加した人たちは講師から、五十音の読みとり方をおそわって、熱心に練習していました。



《府下中学校総合体育大会で大正中女子ソフトボールが初優勝しました》

大正中（門野敬男校長）女子ソフトボール部は、3日、同校グラウンドで行なわれた第25回府下中学校総合体育大会ソフトボールの部で見事、初優勝しました。

この大会は、府下8ブロックの優勝、準優勝の16チームが参加して行なわれたもので、3日、女子の部で大正中が羽衣中を敗り、優勝しました。

また、13日、門野校長に連れられ、松山さん（部長）波多野さん（主将）が賞状と優勝旗を持って、大橋市長を訪れました。



しあわせを築く道

同和問題入門 (64)

■対政府への闘いは、同和対策審議会設置へと発展していきます

1961年（昭和36年）3月、高知市では長浜の原部落を中心に、教科書無償の闘いが展開されます。

母親たちは、3月になるとこどもたちに教科書を用意してやらなくてはなりません。

ところが、失対に出て働くその日ぐらしの母親たちにとっては、古い教科書をゆずりうけるか、高い利子で金を借りて買うしかなかったのです。

たとえ千円でも、高い利子のため、あとがつらくなるのです。

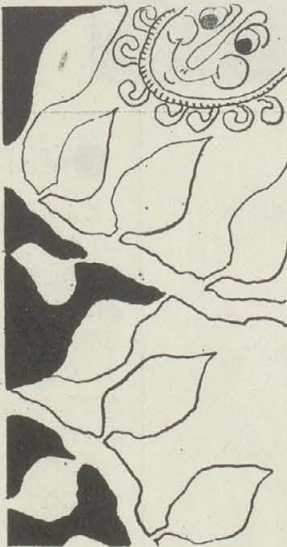
その母親たちの間に「義務教育ちゅうに、教科書くれんものか」という声があがり、教科書無償の闘いが始まったのです。

また、大阪の日の出においても、1959年（昭和34年）に西淡路小学校、啓発小学校で問題が起こり、教育闘争が始まります。

こどもの首に「給食代を忘れた子」とか「宿題を忘れた子」とかのプラカードをぶらさげ、立たせるという事件が起こったのです。

この事件をきっかけとして、大阪の日の出、矢田、西成支部を中心として義務教育無償の闘いが発展しました。

憲法の第26条には、「すべて国民は、法律の定めるところにより、その保護する子女に普通教育をうけさせる義務を負う。義務教育は、これを無償とする」と明記されています。



ところが、このことが現実には保障されていず、教科書を買わねばならなかったし、給食費を払わねばならないのです。

そして、プラカードをぶらさげられるというような差別的扱いをうけていたのです。

このことに対し、高知や大阪の部落の母親たちが闘い、ついには教科書無償を闘いとるのです。

そして、現在ではそのことは全国的にひろがり、私たちも無償で教科書をうけとっています。

このような要求闘争の中から、解放同盟も大きく発展し、大衆的なものになっていきました。

1976年（昭和31年）には、第1回部落解放全国婦人集会、1957年（昭和32年）には部落解放全国青年集会が開催されました。

さらに1958年（昭和33年）には、部落解放国策樹立要請全国会議が結成され、政府に陳情を行ないました。

また、様々の民主主義運動が、国民的高揚を示すのです。

このような力を背景に、1960年（昭和35年）8月13日、同和対策審議会設置法が公布されます。

1961年（昭和36年）3月3日、京都で開かれた部落解放同盟第16回大会は、部落解放運動40周年を記念して、部落解放要求貫徹全国統一闘争の方針を決定し、その核部隊として福岡—東京1,200Kmの行進隊が組織されたのです。

中央政府に対しては、「同和対策審議会設置法案」が成立したにも拘らず、人選問題で未だ開店休業していることへの大闘争が行なわれることになったのです。